

# 「健康づくり関連4計画」の概要について

【共通理念】『全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会「いのち輝く健康未来都市・大阪」の実現』

【計画期間】平成30（2018）年度～平成35（2023）年度

【共通目標】「健康寿命の延伸（2023年度目標：2歳以上延伸）」「健康格差の縮小（2023年度目標：健康寿命の市町村格差の縮小）」

【基本方針】「ライフステージに応じた取組み（若い世代・働く世代・高齢者）」「府民の健康づくりを支える社会環境整備（多様な主体との連携・協働）」等

## 第3次 大阪府健康増進計画

- 平均寿命（男80.23・女86.73）、健康寿命（男70.46・女72.49）とも全国より短く、不健康期間の短縮が必要。
- 市町村における健康寿命の差は、最大で、男4.6歳・女4.0歳であり、その縮小に向けて、各市町村の健康課題に応じた取組みが必要。

### 【計画の取組み】

2023年度目標：特定健診受診率70%以上

- 1 生活習慣病の予防（生活習慣の改善）**
  - ▶ヘルスリテラシーの習得による健康行動の実践、栄養・食生活、運動、喫煙等の生活習慣改善を推進
- 2 生活習慣病の早期発見・重症化予防**
  - ▶職域・医療保険者等におけるけんしんの受診促進
  - ▶未治療者や治療中断者に対する医療機関への受診勧奨の促進
- 3 府民の健康づくりを支える社会環境整備**
  - ▶市町村の健康指標の見える化を通じた健康格差の縮小
  - ▶職場・地域等における健康づくりの推進

## 第3次 大阪府食育推進計画

- 栄養バランスのとれた食事を実践している人の割合（38.5%）は全国より低い。若い世代では朝食摂取、高齢者ではたんぱく質摂取が課題。
- 外食の利用頻度が高い人ほど野菜摂取量は少ない傾向。外食産業等との一層の連携が必要。

### 【計画の取組み】

- 1 健康的な食生活の実践・食に関する理解促進**
  - ▶学校、地域、食品関連事業者等との連携による健康的な食生活の実践を促す取組みを推進
  - ▶食の安全安心の取組み
  - ▶生産から消費までを通じた食育の推進
- 2 食育を支える社会環境整備**
  - ▶多様な主体による食育推進運動の展開
  - ▶多様な主体が参画したネットワークの強化

## 第2次 大阪府歯科口腔保健計画

- 成人期において、歯周病の治療が必要な人は約4～5割。また、年齢とともに高くなる傾向。
- 若い世代（20代・30代）では、かかりつけ歯科医を有する者（46.3%）、定期的な歯科健診受診者（41.4%）は低く、若い世代の普及啓発等が必要。

### 【計画の取組み】

- 1 歯科疾患の予防・早期発見、口の機能の維持向上**
  - ▶定期的な歯科健診、かかりつけ歯科医の重要性、口の機能の維持向上の理解を促進
- 2 歯と口の健康づくりを支える社会環境整備**
  - ▶多様な主体との連携・協働のもと、歯と口の健康づくりに係る普及啓発を推進

## 第3期 大阪府がん対策推進計画

- がん年齢調整死亡率（75歳未満 79.9（人口10万対））は依然として全国より高い。
- 喫煙等生活習慣改善によるがん予防・教育の充実が必要。
- 検診受診率は全国最低レベル（胃33.7%）。受診率向上が課題。
- 5年相対生存率は年々改善、治療と仕事の両立支援等の充実が必要。

### 【基本理念・基本目標】

「がんを知り、がん予防を進めるとともに、がんになっても心身ともに適切な医療を受けられ、安心して暮らせる社会の構築」  
▶がん年齢調整死亡率（75歳未満）、がん年齢調整率（進行がん）の減少、がん患者や家族の生活の質の確保

### 【計画の取組み】

2023年度目標：がん検診受診率（胃・大腸）40%（肺・乳・子宮）45%

- 1 がんの予防・早期発見**
  - ▶たばこ対策、がん教育、がん検診・肝炎ウイルス検査の推進
- 2 がん医療の充実**
  - ▶医療提供体制の充実、小児・AYA世代等への対応、緩和ケア推進
- 3 患者支援の充実**
  - ▶就労支援、大阪重粒子線センターにおける患者支援、アピランスケア等
- 4 がん対策を社会全体で進める環境づくり**
  - ▶社会全体の機運づくり、がん対策基金の効果的な活用、がん患者会等との連携推進